

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障がい	高次脳機能障がい	その他市民	選択肢
あなた(宛名のご本人)のことについて、うかがいます。	1	あなたの性別と年齢をお答えください。 1性別(1つに○印) 2年齢(平成26年4月1日現在)	○	○	○	○	○	○	○	1. 男性 2. 女性 1. 20歳未満 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～64歳 7. 65歳以上
	2	あなたの身体障害者手帳の等級をお答えください。(1つに○印)	○	—	—	○	—	—	—	1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級 6. 6級 7. 持っていない
	3	あなたの療育手帳(みどりの手帳)の程度は次のうちどれですか。(1つに○印)	—	○	—	—	—	—	—	1. OA(最重度) 2. A(重度) 3. B(中度) 4. C(軽度)
	4	手帳を持っている場合、あなたの精神障害者保健福祉手帳の等級をお答えください。(1つに○印)	—	—	○	—	○	○	—	1. 1級 2. 2級 3. 3級
	5	あなたの障がいの部位(場所)はどこですか。障がい複数ある場合は、主なもの3つまでに○印(最も重いものには○印)をつけてください。	○	—	—	—	—	—	—	1. 視覚 2. 聴覚・平衡機能 3. 音声・言語・そしゃく機能 4. 肢体不自由(上肢) 5. 肢体不自由(下肢) 6. 肢体不自由(体幹) 7. 肢体不自由(運動機能) 8. 内部(心臓) 9. 内部(じん臓) 10. 内部(呼吸器) 11. 内部(ぼう胱・直腸・小腸) 12. 内部(肝臓) 13. 内部(免疫) 14. その他()
	6	あなたの病名や障がいの状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに○印)	—	—	○	—	—	—	—	1. 統合失調症 2. 気分障がい(そううつ病など) 3. 非定型精神病 4. 人格障がい 5. てんかん 6. 器質性精神障がい 7. 中毒性精神障がい(薬物・アルコールなど) 8. 神経症 9. その他()
	7	あなたは、療育手帳(みどりの手帳)や精神障害者保健福祉手帳(水色)もお持ちですか。持っていれば障がいの程度もお答えください。(療育手帳は、知的障がいのある方に交付される手帳です。)(あてはまるものすべてに○印)	○	—	—	○	—	—	—	療育手帳 1. OA(最重度) 2. A(重度) 3. B(中度) 4. C(軽度) 5. 持っていない 精神障害者保健福祉手帳 1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 持っていない
	8	あなたは、身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳(水色)もお持ちですか。持っていれば障がいの程度もお答えください。(あてはまるものすべてに○印)	—	○	—	—	—	—	—	身体障害者手帳 1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級 6. 6級 7. 持っていない 精神障害者保健福祉手帳 1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 持っていない
	9	あなたは、身体障害者手帳や療育手帳(みどり色)もお持ちですか。持っていれば障がいの程度もお答えください。(療育手帳は、知的障がいのある方に交付される手帳です。)	—	—	○	—	○	○	—	身体障害者手帳 1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級 6. 6級 7. 持っていない 療育手帳 1. OA(最重度) 2. A(重度) 3. B(中度) 4. C(軽度) 5. 持っていない
	10	年齢が40歳以上の方にうかがいます。あなたは介護保険の認定を受けていますか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 受けている 2. 受けていない
	11	あなたの病名(障がいの状況)はどれですか。(あてはまるものすべてに○印)	—	—	—	○	○	○	—	選択肢は難病・発達障がい・高次脳機能障がいそれぞれ用意

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障がい	高次脳機能障がい	その他市民	選択肢
あなた(宛名のご本人)の ことについて、 うかがいます。	12	あなたの職業についてお答えください。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. 農業 2. 自営業(商店・工場・事務所など) 3. 会社員・公務員など 4. パート・アルバイト 5. 内職 6. 学生 7. 家事専従(主婦・主夫) 8. 無職 9. その他()
	13	あなたの家族は何人ですか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 6人 7. 7人以上
	14	越谷市に住まれて何年になりますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. 1年未満 2. 1~3年未満 3. 3~5年未満 4. 5~10年未満 5. 10 ~15年未満 6. 15~20年未満 7. 20年以上
	15	家族の中に障がいや病気のある方がいますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. いる 2. いない
あなたの生活について、 うかがいます。	16	あなたの現在のお住まい(生活の場)はどこですか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 持ち家(一戸建て) 2. 持ち家(マンション) 3. 民間借家(アパート、マンションを含む) 4. 市営住宅・県営住宅 5. 公団・公社の賃貸住宅 6. 社宅・会社の寮 7. グループホーム・生活ホーム・その他の福祉施設 8. その他()
	17	あなたは、誰と一緒に生活していますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 配偶者(妻・夫) 2. 子ども 3. 子どもの配偶者 4. 父 5. 母 6. 祖父母 7. 兄弟・姉妹 8. その他の親族 9. 友人など家族以外の人 10. 寮や施設の職員・仲間 11. ひとり暮らし 12. その他()
	18	あなたの世帯の収入源は何ですか。(3つまでに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. あなたご自身の給与・賃金 2. あなた以外の家族の給与・賃金 3. 事業収入(自営業や農業などの収入) 4. 財産収入(利子や家賃などの収入) 5. 年金 6. 手当 7. 生活保護 8. 仕送り 9. その他()
	19	あなたは、現在の生活で困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	○	○	○	—

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障がい	高次脳機能障がい	その他市民	選択肢
介助の状況について、うかがいます。	20	あなたは、次のような日常生活場面でどの程度の介助が必要ですか。 ①～⑩それぞれについて、あてはまるもの1つに○印をつけてください。	○	○	○	○	○	○	—	<介助の程度> 1. ひとりでできる(補装具などの使用含む) 2. 少し手伝ってもらう 3. ほとんど手伝ってもらう <日常生活場面> ①食 事 ②着 替 え ③ト イ レ ④入 浴 ⑤寝 返 り ⑥家の中の移動 ⑦食事の支度や片づけ ⑧身の回りの掃除・洗濯 ⑨服薬管理 ⑩人とのコミュニケーション
	21	20で、1つでも「2. 少し手伝ってもらう」、「3. ほとんど手伝ってもらう」とお答えの方にうかがいます。あなたの主な介助者は誰ですか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 配偶者(妻・夫) 2. 子ども 3. 子どもの配偶者 4. 父 5. 母 6. 祖父母 7. 兄弟・姉妹 8. その他の親族 9. ホームヘルパー 10. 家政婦 11. 友人・知人 12. ボランティア 13. 施設・寮の職員 14. 近所の人 15. その他()
	22	お住まいで、現在のあなたや介助者のために改築したいと思うところがありますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	—	—	○	—	—	—	1. 玄関 2. 風呂 3. トイレ 4. 居室 5. 台所 6. 廊下 7. 階段 8. その他() 9. 特に改築するところはない 10. すでに改築したので必要ない
	23	22で「1～8」のいずれかをお答えの方にうかがいます。実際に改築をすることができますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	—	—	○	—	—	—	1. できる 2. 家が老朽化しているのでできない 3. 家の構造上できない 4. 資金がないのでできない 5. 借家・アパートなのでできない 6. 相談にのってくれる人(所)がわからないのでできない 7. その他()
健康状態や保健・医療について、うかがいます。	24	あなたの現在の健康状態は、次のどれにあたりますか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 良好 2. 病気がち 3. 通院中 4. 寝たきり 5. 入院中
	25	機能回復や機能維持のためのリハビリを受けていますか。(1つに○印)	○	—	—	○	—	—	—	1. 受けている 2. 受けていない
	26	25で「1. 受けている」とお答えの方にうかがいます。どちらの機関をお使いですか。(あてはまるものすべてに○印)	○	—	—	○	—	—	—	1. 病院・診療所(医院・クリニック等)・リハビリ医療専門施設 2. 保健センター 3. 障害者福祉センター「こぼと館」や障がい者(児)のための入所・通所施設 4. 老人保健施設や高齢者のデイサービスセンターなどの通所施設 5. 特別支援学校 6. 民間団体、サークル 7. 自宅 8. その他()
	27	25で「2. 受けていない」とお答えの方にうかがいます。受けていない理由は何ですか。具体的にお書きください。	○	—	—	○	—	—	—	自由記入 <例:今はリハビリの必要がない、リハビリ機関が遠いため、など>
	28	受診するにあたって、お困りのことがありますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 専門的な治療を行ってくれる医療機関が身近にない 2. 通院するときに付き添いをしてくれる人がいない 3. 往診を頼める医師がいない 4. 歯科診療を受けにくい 5. 定期的に健康診断を受けられない 6. 障がいのため症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない 7. 受診手続きや案内などの障がい者への配慮が不十分 8. その他()
29	あなたは、過去1年間にどのくらい精神科にかかりましたか(1つに○印)	—	—	○	—	○	○	—	1. 年に数回ぐらいかかった 2. 月に1、2回ぐらいかかった 3. 週に1、2回ぐらいかかった 4. 週に3、4回ぐらいかかった 5. かかっていない 6. その他()	

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障がい	高次脳機能障がい	その他市民	選択肢
福祉サービスについて、うかがいます。	31	障害程度区分(平成26年4月1日以降は障害支援区分)の認定を受けたことがありますか。ある場合には、区分にも○をつけてください。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. ある → 区分1 区分2 区分3 区分4 区分5 区分6 非該当 申請中 2. なし
	32	訪問系サービスについて、あてはまる利用状況と満足度に○印をつけてください。(ホームヘルプサービスなど、自宅で日常生活を支援するサービス)	○	○	○	○	○	○	—	<利用状況> 現在利用している 利用したことがある 利用したことがない 知らない <満足度> 満足 どちらともいえない 不満 <サービスの名称(サービスの内容)> ①居宅介護 ②重度訪問介護 ③重度障害者等包括支援 ④行動援護 ⑤同行援護
	33	32で利用していると答えた方にうかがいます。改善すべき点はありますか。	○	○	○	○	○	○	—	1 利用者負担額が高い。 2 利用時間が短い。 3 利用したいときに利用できない。 4 その他()
	34	32で利用していないと答えた方にうかがいます。利用していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○印をつけてください。)	○	○	○	○	○	○	—	1 サービスの対象外である。 2 利用したいと思わない。 3 利用することに抵抗がある。 4 利用方法が分からない。 5 サービスがあることを知らなかった。 6 利用者負担額が高い。 7 利用したいときに利用できない。 8 その他()
	35	日中活動系サービスについて、あてはまる利用状況と満足度に○印をつけてください。(施設において、日中に、訓練や創作活動、生産活動など社会的活動を支援したり、就労への訓練や働く場の提供、能力向上のための訓練を行うサービス)	○	○	○	○	○	○	—	<利用状況> 現在利用している 利用したことがある 利用したことがない 知らない <満足度> 満足 どちらともいえない 不満 <サービスの名称(サービスの内容)> ①生活介護 ②自立訓練 ③就労移行支援 ④就労継続支援A型 ⑤就労継続支援B型 ⑥療養介護 ⑦地域活動支援センター ⑧地域デイケア施設 ⑩ショートステイ
	36	35で利用していると答えた方にうかがいます。改善すべき点はありますか。	○	○	○	○	○	○	—	1 利用者負担額が高い。 2 利用時間が短い。 3 利用したいときに利用できない。 4 その他()
	37	35で利用していないと答えた方にうかがいます。利用していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○印をつけてください。)	○	○	○	○	○	○	—	1 サービスの対象外である。 2 利用したいと思わない。 3 利用することに抵抗がある。 4 利用方法が分からない。 5 サービスがあることを知らなかった。 6 利用者負担額が高い。 7 利用したいときに利用できない。 8 その他()
	38	施設等での居住系サービスについて、あてはまる利用状況と満足度に○印をつけてください。(夜間、施設やグループホームで提供するサービス)	○	○	○	○	○	○	—	<利用状況> 現在利用している 利用したことがある 利用したことがない 知らない <満足度> 満足 どちらともいえない 不満 <サービスの名称(サービスの内容)> ①グループホーム(援助を受けながら少人数で共同生活を行う) ②施設入所支援(施設に入所している方に、夜間や休日、入浴・排泄・食事の介護等を行う) ③生活ホーム(生活全般、社会参加に必要な指導・援助を行う)
	39	38で利用していると答えた方にうかがいます。改善すべき点はありますか。	○	○	○	○	○	○	○	—

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障がい	高次脳機能障がい	その他市民	選択肢
福祉サービスについて、 うかがいます。	40	38で利用していないと答えた方にうかがいます。利用していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○印をつけてください。)	○	○	○	○	○	○	—	1 サービスの対象外である。 2 利用したいと思わない。 3 利用することに抵抗がある。 4 利用方法が分からない。 5 サービスがあることを知らなかった。 6 利用者負担額が高い。 7 利用したいときに利用できない。 8 その他()
	41	その他在宅サービスについて、あてはまる利用状況と満足度に○印をつけてください。	○	○	○	○	○	○	—	<利用状況> 現在利用している 利用したことがある 利用したことがない 知らない <満足度> 満足 どちらともいえない 不満 <サービスの名称(サービスの内容)> ①相談支援 ②コミュニケーション支援事業 ③日常生活用具の給付 ④移動支援事業 ⑤ガイドヘルパー派遣事業 ⑥全身性障がい者介護人派遣事業 ⑦知的障がい者介護人派遣事業 ⑧移動入浴サービス ⑨生活サポート事業 ⑩日中一時支援事業 ⑪就労支援センター ⑫その他
	42	41で利用していると答えた方にうかがいます。改善すべき点はありますか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1 利用者負担額が高い。 2 利用時間が短い。 3 利用したいときに利用できない。 4 その他()
	43	41で利用していないと答えた方にうかがいます。利用していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○印をつけてください。)	○	○	○	○	○	○	—	1 サービスの対象外である。 2 利用したいと思わない。 3 利用することに抵抗がある。 4 利用方法が分からない。 5 サービスがあることを知らなかった。 6 利用者負担額が高い。 7 利用したいときに利用できない。 8 その他()
	44	施設は、苦情や相談を聞いてくれますか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 気軽にすることができる 2. 利用者の立場上、遠慮してしまう 3. その他()
就学について、 うかがいます。	45	現在、就学されている方にうかがいます。あなたの就学状況は次のうち、どれですか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 幼稚園・保育所(園)・通園施設 2. 小・中学校・高等学校 3. 特別支援学校 4. 大学・専門学校 5. その他()
	46	通園・通学していて、特に困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 交通手段が不便である 2. トイレなどの設備が障がいに配慮されていない 3. 学校内・園内での介助が十分でない 4. 周囲の教員や生徒たちの理解が得られない 5. 受け入れてくれる学校が少ない 6. 普通学級に入れない 7. その他()
	47	あなたは、現在の学校などを卒業した後の進路をどのように考えていますか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	あなたは、現在の学校などを卒業した後の進路をどのように考えていますか。(1つに○印) 1. 小・中・高等学校・大学・専門学校に進学したい 2. 特別支援学級・特別支援学校に進学したい 3. 入所施設などに入りたい 4. 通所施設などに通いたい 5. 正規社員・職員として勤めに出たい 6. パート・アルバイトとして勤めに出たい 7. 自営業など、自分で仕事を始めたい 8. 在宅勤務・内職など、自宅のできる仕事をしたい 9. わからない・まだ決めていない 10. その他()

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障がい	高次脳機能障がい	その他市民	選択肢
仕事について、うかがいます。	48	あなたは現在仕事(福祉的就労を含む)をしていますか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 仕事をしている 2. 仕事はしていない
	49	48で「1. 仕事をしている」とお答えの方にうかがいます。あなたの仕事は次のどれにあてはまりますか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 自営業 2. 家族の営む事業の従事者 3. 会社員・公務員など 4. パート・アルバイト 5. 授産施設・就労継続支援など 6. その他()
	50	48で「1. 仕事をしている」とお答えの方にうかがいます。あなたは1週間にどのくらい働いていますか。(1つに○印) また、働く日は1日にどのくらい働いていますか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 5日以上 2. 3~4日 3. 1~2日 4. その他()
	51	48で「1. 仕事をしている」とお答えの方にうかがいます。今の職場で困っていることがありますか。(3つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 仕事にやりがいがない 2. 人間的な成長が得られない 3. 業務で求められることができない 4. 仕事仲間との関係 5. 自分の能力が活かせない 6. 必要な知識と技術が十分ではない 7. 必要な体力が十分ではない 8. 精神的なストレスが大きい 9. 支援が得られず孤独 10. 時間に追われる 11. 責任が重い 12. 仕事に誇りがもてない 13. 周囲の障がいに対する理解がない 14. その他()
	52	48で「2. 仕事はしていない」とお答えの方にうかがいます。仕事をしていない理由は何ですか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 学生だから 2. 専業主婦(夫)だから 3. 高齢者(65歳以上)だから 4. 障がい・病気などの健康上の理由 5. 自分に合った職業・職場がない 6. 中高年なのでなかなか採用してもらえない 7. その他()
	53	48で「2. 仕事はしていない」とお答えの方にうかがいます。何か適当な仕事があれば働きたいと思いませんか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 毎日働きたい 2. 週2~3日働きたい 3. 週1日程度働きたい 4. 働きたくない 5. その他()
外出について、うかがいます。	54	あなたは一週間に何日ぐらい外出しますか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 週に6日以上 2. 週に3~5日 3. 週に1~2日 4. 月に1~2日 5. ほとんど出かけない
	55	54で「1~4」のいずれかをお答えの方にうかがいます。あなたが外出する目的や理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 買い物 2. 通院 3. 仕事・通勤 4. 散歩 5. 趣味・遊び 6. 役所・銀行などへの用事 7. 交友・サークル 8. スポーツ 9. 通園・通学・通所 10. 公共施設などの利用 11. その他()
	56	外出するときには、介助をする方が必要ですか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 必要である 2. なれていないところでは必要 3. 必要ない
	57	54で「5. ほとんど出かけない」とお答えの方にうかがいます。ほとんど出かけない理由は何ですか。(3つまでに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 障がいが重い 2. 道路や階段が不便・危険 3. 乗り物の利用が困難 4. 家族に負担がかかる 5. トイレが心配 6. 外出するのが面倒くさい 7. 介助者がいない 8. お金がかかる 9. 他人の視線が気になる 10. その他()
	58	外出の手段についてうかがいます。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 路線バス 2. 送迎バス 3. 電車 4. 自転車・オートバイ 5. 自家用車(自分で運転) 6. 自家用車(乗せてもらう) 7. タクシー 8. リフト付き自動車 9. 徒歩 10. 車イス・電動車イス 11. その他()
59	通勤・通学や外出のとき、不便を感じるのはどんなことですか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 駅や建物に階段や段差が多い 2. エスカレーターやエレベーターがない・少ない 3. 障がい者用のトイレが少ない・使いにくい 4. 駐車場が不備・少ない 5. 駅の設備が配慮されていない 6. 駅などでキップが買えない 7. 電車・バスの乗り降りが困難である 8. 歩道が少ない・狭い 9. 道路の段差、路面のでこぼこが多い 10. 歩道上に障がい物が多い 11. 点字ブロック・音声式信号などの標示が不十分 12. その他()	

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障がい	高次脳機能障がい	その他市民	選択肢
余暇・社会参加・生活全般について、うかがいます。	60	あなたは自治会に加入していますか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 加入している 2. 加入していない
	61	あなたは、友人や仲間とともにどのような活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見物 2. スポーツやレジャーなどの活動 3. 知識や技術を身につける学習活動 4. 趣味の活動 5. ボランティアなどの社会活動 6. 自治会・子ども会・老人クラブなどの地域活動 7. 障がい者団体などの活動 8. 地区センター・公民館が主催する事業 9. 職場のサークル活動 10. 児童館の活動 11. 日帰り旅行 12. 泊まりがけの旅行 13. その他() 14. 何も参加していない
	62	今後はどのような活動をしたいと思いますか。(3つまでに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見物 2. スポーツやレジャーなどの活動 3. 知識や技術を身につける学習活動 4. 趣味の活動 5. ボランティアなどの社会活動 6. 自治会・子ども会・老人クラブなどの地域活動 7. 障がい者団体などの活動 8. 地区センター・公民館が主催する事業 9. 職場のサークル活動 10. 児童館の活動 11. 日帰り旅行 12. 泊まりがけの旅行 13. その他()
	63	障がいのある人が地域や社会に積極的に参加できるようにするために、大切なことは何だと思いますか。(3つまでに○印)	○	○	○	○	○	○	○	1. 障がい者の方などの自主的なグループづくり、リーダー育成などの支援 2. 障がい者の方などのためのスポーツ大会・レクリエーション行事の充実 3. 障がい者の方などが参加しやすい趣味・スポーツ・教養講座の充実 4. 活動のための情報や相談の充実 5. 障がい者の方などに配慮した施設や設備の充実 6. 外出のための移動手段や介助の確保 7. 学習の成果を発表する機会の充実 8. 活動にかかる費用の援助 9. その他()
	64	市の公共施設の利用状況について、うかがいます。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. よく利用する 2. ときどき利用する 3. 利用しない(活動可能な内容がないことも含む)
	65	あなたが主に利用する市の公共施設は、次のどれですか。(3つまでに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 市民会館(中央・北部) 2. 交流館(8館) 3. 老人福祉センター(くすのき荘・けやき荘・ゆりのき荘) 4. 障害者就労訓練施設しらこぼと 5. 障害者福祉センター「こぼと館」 6. 児童館(ヒマワリ・コスモス) 7. 地区センター・公民館 8. 教育センター 9. 科学技術体験センター「ミラクル」 10. 越谷コミュニティセンター 11. 日本文化伝承の館「こしがや能楽堂」 12. 男女共同参画支援センター 13. 市民活動支援センター 14. 体育館 15. 花田苑 16. キャンペルトウン野鳥の森 17. いきいき館(市民プール) 18. 児童発達支援センター 19. 図書館 20. テニスコート 21. 野球場 22. 弓道場 23. サッカー場 24. 多目的運動場 25. その他()
	66	市の公共施設を利用する際、どのような点が気になりますか。(3つまでに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. お金がかかる 2. 個人の利用ができない 3. 交通の便が悪い 4. 案内板がない 5. 駐車場がない(少ない) 6. 予約の方法がわからない 7. その他()
67	あなたが悩みや困ったことを相談するのは主に誰ですか。(3つまでに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 家族 2. 親戚 3. 近所の人 4. 友人・知人 5. 同じ障がいを持つ人 6. 障がい者の団体・家族会など 7. 職場の人 8. ボランティア 9. 身体障害者相談員・知的障害者相談員 10. 民生委員・児童委員 11. 市役所の職員 12. 障害者生活支援センターの職員 13. 福祉施設の職員 14. 病院・診療所などの職員 15. 保育所(園)・幼稚園・学校の先生 16. 社会福祉協議会の職員 17. その他() 18. 相談する人がいない	

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障がい	高次脳機能障がい	その他市民	選択肢
余暇・社会参加・生活全般について、うかがいます。	68	あなたは日常生活に必要な情報をどのように得ていますか。(3つまでに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 市役所・保健センターなどの相談窓口 2. 障害者生活支援センター 3. 地域活動支援センター 4. 社会福祉協議会 5. 病院などの医療機関 6. 通所施設・入所施設 7. 学校・幼稚園・保育所(園) 8. 身体障害者相談員・知的障害者相談員 9. 民生委員・児童委員 10. 障がい者の団体・家族会など 11. バリアフリーマップ(おでかけマップ・トイレマップ)※ 12. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 13. 市の広報紙などのお知らせや市民ガイドブック 14. 家族・親戚 15. 友人・知人 16. パソコン通信・インターネットなど 17. その他() 18. 情報を得るところはない
	69	パソコン・スマートフォン等の利用状況についてうかがいます。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 毎日利用する 2. たまに利用する 3. ほとんど利用しない 4. 全く利用しない
	70	69で「3. ほとんど利用しない」または「4. 全く利用しない」とお答えの方にうかがいます。今後、パソコン・スマートフォン等を利用したいと思いますか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 利用したいと思う 2. 利用したいが利用の方法がわからない 3. 利用したいと思わない 4. わからない 5. その他()
防災について、うかがいます。	71	あなたは、災害時の避難所・避難場所を知っていますか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 知っている 2. 知らない
	72	あなたは、火事や地震などの災害時に一人で避難できますか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 指示がなくてもできる 2. 避難場所への文字や音声などの誘導があればできる 3. 交通規制などでいつもの道を通れないと難しい 4. できない 5. その場になってみないとわからない
	73	73で「2～5」のいずれかをお答えの方にうかがいます。あなたは、災害時に誰の手助けが必要であると思いますか。(2つまでに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 家族 2. 近所の人 3. 自治会 4. 友人・知人 5. 親戚 6. 自分の所属する団体や組織 7. 職場の人 8. 福祉施設職員 9. 民生委員・児童委員 10. 消防や警察 11. わからない 12. その他()
	74	あなたは、災害に備えてどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(3つまでに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 災害時の心得や地震に関する知識の普及 2. 緊急情報の提供体制の確立 3. 障がい者が避難するための地域ぐるみの協力体制の確立 4. 災害が発生したときの迅速な避難誘導体制の確立 5. 障がい者のための避難訓練の実施 6. その他() 7. わからない
	75	災害時要援護者避難支援制度についてうかがいます。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	○	1 登録している 2 登録していない
76	75で「登録していない」とお答えの方にうかがいます。登録していない理由はなんですか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	○	1 知らなかった 2 登録したいが対象外だった 3 目力で対応できるため登録する必要はない 4 災害時に助けてくれる当てがあるため必要ない 5 その他()	
暮らし方について、うかがいます。	77	あなたは今後どのように生活したいと思いますか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. ひとり暮らし 2. 介助を受けてのひとり暮らし 3. 家族と同居 4. 仲間・友人などと共同生活 5. グループホームや生活ホーム(4～5人の仲間と一緒に食事や身の回りの世話をする人のいる生活の場)で、一緒に暮らしたい 6. 施設などに入所したい 7. わからない 8. その他()
	78	あなたが77で選んだ生活をしようとするとき、何が問題になりますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 生活を支援してくれる人がいない 2. 一緒に住む仲間がいない 3. 施設に関する情報がない 4. 家賃を払うだけの収入がない 5. 家族が反対する 6. その他() 7. 特に問題はない
	79	77で「6. 施設などに入所したい」とお答えの方にうかがいます。施設に入所したい理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 福祉施設などに通い、作業や訓練をしたいが、正員や距離の関係で利用できないから 2. 生活ホームやグループホームなどに入居できないから 3. 地域での生活を送る上で、常に介護や見守りをしてくれる人が身近にいないから 4. 大勢の人と共同生活をしたいから 5. その他()

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障がい	高次脳機能障がい	その他市民	選択肢
家庭内でご本人の介助をしている方に、うかがいます。	80	あなたの年齢をお答えください。(平成26年4月1日現在)	○	○	○	○	○	○	—	1. 20歳未満 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～64歳 7. 65歳以上
	81	あなたの健康状態はいかがですか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 健康である 2. 今は病弱ではないが健康に不安 3. 病弱であり健康に不安 4. 通院している
	82	あなたは仕事をお持ちですか。(1つに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 仕事を持っている 2. 働いていない 3. 働きたいが、介助のために働きに出られない
	83	介助する上で、特に大変なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 食事の介助 2. トイレの介助 3. おむつの交換 4. 入浴の介助 5. 着替えの介助 6. 衛生管理 7. 床ずれ対策 8. 室内の移動介助 9. 外出介助 10. リハビリ介助 11. 夜間の介助 12. 本人との意思疎通 13. 本人の精神的支え 14. 本人の病気時 15. 緊急時の対応 16. 本人の行動障がい 17. 家事一般 18. その他()
	84	介助する上で、悩みや問題がありますか。(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	○	○	—	1. 自分の時間がもてない 2. 体力的にきつい 3. 精神的に疲れる 4. 他に介助者がいない 5. 経済的な負担が大きい 6. 身近に相談できる人がいない 7. 近くに利用できる福祉施設がない 8. 近くに医療機関がない 9. 歯科診療を受けにくい 10. その他()
	85	平成24年10月に施行された、「障害者虐待防止法」やそこに定義される虐待(身体的虐待、心理的虐待、ネグレクト等)を知っていますか。	○	○	○	○	○	○	—	
86	虐待が起こる原因は何だと考えますか。	○	○	○	○	○	○	—		
障がい者の権利擁護について、うかがいます	87	あなたは以下のようなことを受けたことがありますか。	○	○	○	○	○	○	—	
	89	87であると回答された方にうかがいます。それはどのような場所でありましたか？	○	○	○	○	○	○	—	1 自宅・家庭 2 職場 3 病院 4 福祉施設 5 学校 6 その他()
	90	障がい者が虐待されているところをみたことがありますか？	○	○	○	○	○	○	○	1 ある 2 ない
	91	問90であると回答された方にうかがいます。それはどのような場所でありましたか？	○	○	○	○	○	○	○	1 自宅・家庭 2 職場 3 病院 4 福祉施設 5 学校 6 その他()
	92	90であると回答された方にうかがいます。それはどのようなものですか？	○	○	○	○	○	○	○	1 (身体的虐待)叩かれたり、殴られたり、または傷つけられるところ。 2 (心理的虐待)罵られたり、罵倒されたり、暴言を吐かれるところ。 3 (ネグレクト)食事を与えられなかったり、排泄物の処理をされなかったり、長いこと相手にされなかにいていところ。 4 (経済的虐待)お金を勝手に使われたり、取り上げられるところ。 5 (性的虐待)同意もなくわいせつな行為をされたり、強制させられたところ。 6 その他()
	93	障がい者への虐待をなくすために必要なことはなんだと思いますか？	○	○	○	○	○	○	○	1 介護者・支援者に対するケア 2 虐待を受けている人が相談しやすい体制づくり 3 地域社会でのみまもり 4 障がいの特性や虐待についての知識の啓発 5 その他()
	94	差別や偏見、疎外感を感じることはありますか？	○	○	○	○	○	○	—	1 よくある 2 たまにある 3 ほとんどない 4 ない
	95	94であると回答された方にうかがいます。それはどのようなものですか？	○	○	○	○	○	○	—	1 教育の場 2 仕事や収入面 3 コミュニケーション 4 学習機会やスポーツ・趣味の活動 5 隣近所つきあい 6 地区の行事・集まり 7 人の視線 8 店での対応 9 行政職員の応対・態度 10 交通機関の利用等 11 公共機関の利用等 12 その他()
96	障がい者への差別をなくすために必要なことはなんだと思いますか？	○	○	○	○	○	○	○	1 差別に対する法律の整備 2 行政による啓蒙活動 3 地域社会での取り組み 4 障がいに関する教育の充実 5 その他()	

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障がい	高次脳機能障がい	その他市民	選択肢
障がい者の権利擁護について、うかがいます	97	あなたは、成年後見制度を知っていますか。(1つに○印) 成年後見制度とは、精神障がい、知的障がいなどの理由で判断能力が不十分な方が、財産管理や日常生活での契約を行うときに不利益を被ったり、悪質商法の被害者となることなどを防ぐため、本人に代わり後見人等が各種の手続きを行い、本人の権利と財産を守る法律的な支援制度です。	—	○	○	—	○	○	—	1. 制度内容も含めよく知っている 2. 詳細内容は知らないが、概要は知っている 3. 制度名称は程度は知っている 4. はじめて知った
	98	あなたはこの制度を利用しようと思えますか。	—	○	○	—	○	○	—	1. 利用する 2. 利用しない 3. わからない
	99	成年後見センターこしがやについてお答えください。(1つに○印)	—	○	○	—	○	○	—	1 利用したことがある。 2 利用したことはないが、知っている。 3 知らなかった。
障がい者施策について、うかがいます。	100	障害福祉サービス事業所等(生産品や役務を提供している事業所)の利用者の工賃アップのために必要なことは何だと思えますか?(あてはまるものすべてに○印)	○	○	○	○	○	○	○	1 魅力的な生産品の作成 2 継続的・安定的な生産量 3 販路の拡大 4 市民等への情報提供 5 公的機関・民間企業からの発注の拡大 6 その他()
	101	あなたは、障がいのある人が暮らしやすいまちをつくるために、今後、越谷市ではどのようなことが重要だと思えますか。(5つまでに○印)	○	○	○	○	○	○	○	1. 障がいの予防・早期発見・保健指導体制の充実 2. 障がい児保育・障がい児教育の充実 3. 障がい児学童保育の充実 4. 居宅介護・ショートステイなどの在宅福祉サービスの充実 5. 通所施設の整備や施設運営の改善 6. 入所施設の整備や施設運営の改善 7. 福祉機器の利用のための助成 8. 医療やリハビリの充実 9. 福祉に関する情報提供や相談の充実 10. 就労の援助や雇用の促進 11. 生涯学習や文化活動の充実 12. スポーツ・レクリエーション活動の充実 13. 障がい者が住みやすい住宅の確保や居住環境の改善・整備 14. 建物や交通機関、道路など障がい者に配慮したまちづくりの推進 15. 防災や安全対策など安心して暮らせるまちづくりの推進 16. 保護者などが亡くなったあとの生活支援の充実 17. ボランティア活動の推進 18. 障がい者理解への啓発や交流の促進 19. その他() 20. 特にない
	102	市へのご意見・ご提案がありましたらお書きください。	○	○	○	○	○	○	○	○
障がい者施策に対する意識についてうかがいます。	103	あなたは、障がい者施策に関心がありますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. ある 2. 少しある 8. 特に考えたことがない
	104	あなたは、国の定めにより12月3日から12月9日までの1週間が「障害者週間」であることを知っていますか。(1つに○印) 「障害者週間」は、障害者基本法に定められています。	—	—	—	—	—	—	○	1. 知っている 2. 知らなかった
	105	あなたは、「障害者の日記念事業ふれあいの日」を知っていますか?(1つに○印) ふれあいの日は:毎年6月第1日曜日に中央市民会館にて、福祉団体によるコンサートや活動内容の発表及び模擬店の出店などを行い障がい者福祉に対する理解を促進する行事です。	—	—	—	—	—	—	○	1 行事に参加したことがある。 2 行事に参加したことはないが、知っている。 3 知らなかった。
	106	あなたは、障がいのある方を対象としたボランティア活動に関心がありますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. ある 2. 少しある 3. 特に考えたことがない
	107	あなたは、「ノーマライゼーション」という言葉を知っていますか。(1つに○印) ノーマライゼーションとは、障がいのある人も、障がいのない人と同じように、ともに地域の中で普通の生活をしていくことができる社会にすべきという考え方をいいます。	—	—	—	—	—	—	○	1. 知っている 2. 言葉だけは知っている 3. 知らなかった
	108	107で「1. 知っている」とお答えの方にうかがいます。あなたは、ノーマライゼーションの考え方が広がってきたと思えますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. 広がった 2. 少し広がった 3. あまり広がっていない 4. 広がっていない 5. わからない
	109	あなたは、「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。(1つに○印) 障がいをもつ人・もたない人の別はなく、すべての人にとって使い易い形や機能が配慮されたデザインのことをいいます。すべての人にとって使い易いものは、障がいを持つ人にも使いやすいという考え方で設計するので、もともとのデザイン自体が特に障がい・障壁を感じさせないつくりになっています。	—	—	—	—	—	—	○	1. 知っている 2. 言葉だけは知っている 3. 知らなかった
110	109で「1. 知っている」とお答えの方にうかがいます。あなたは、あなたの周辺におけるユニバーサルデザインの普及についてどのように思えますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. 普及している 2. 少し普及している 3. あまり普及していない 4. 普及していない 5. わからない	

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障がい	高次脳機能障がい	その他市民	選択肢
障がい者施策に対する意識についてうかがいます。	111	あなたは“バリアフリー”という言葉の意味を知っていますか。(1つに○印) バリアフリーとは、障がいのある人が社会生活を送っていく上でバリア(障壁)となるものを除去するという意味で、そのバリアとは物理的障壁(道路・建物・交通機関等)、制度的障壁(資格制度・入学試験・就労等)、文化・情報の障壁(音声・郵便等)、意識上の障壁(偏見・差別の容認・人権への無関心等)を意味するものです。	—	—	—	—	—	—	○	1. よく知っている 2. 言葉だけは知っている 3. 知らなかった
	112	111で「1. 知っている」とお答えの方にうかがいます。あなたは、バリアフリー化の進展についてどのように思いますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. 進展している 2. 少し進展している 3. あまり進展していない 4. 進展していない 5. わからない
	113	あなたは、“インクルージョン”という言葉を知っていますか。(1つに○印) インクルージョンとは、障がい者が社会や学校で健常者と共に活動したり学んだりできるようにしようという考え方をいいます。	—	—	—	—	—	—	○	1. よく知っている 2. 言葉だけは知っている 3. 知らなかった
	114	あなたは、障がいのある子どもが学校の普通学級に通うことについて、どのような配慮が必要だと思いますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. 学校の施設・設備 2. 学校の指導体制 3. 周囲の理解 4. 通学手段 5. その他()
	115	あなたは、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザイン、バリアフリー、インクルージョンを広げていく(又は、さらに広げていく)ためには、どのようなことが必要だと思いますか。	—	—	—	—	—	—	○	自由記入
相談や情報の入手についてうかがいます。	116	あなたは、保健・福祉に関する情報をどのようなところから得ていますか。(3つまでに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. 医療機関 2. 民生委員・児童委員 3. 保健所 4. 市の相談窓口 5. 社会福祉協議会 6. 市広報紙などのお知らせ 7. 地域の回覧板・掲示板 8. インターネット 9. テレビ・ラジオ・新聞 10. その他()
福祉のまちづくりについてうかがいます。	117	越谷市は障がいのある人にとって暮らしやすいまちだと思いますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. とても暮らしやすい 2. まあまあ暮らしやすい 3. あまり暮らしやすくない 4. わからない・何ともいえない
	118	あなたは障がいのある人が暮らしやすいまちをつくるために、今後越谷市において、どのようなことが重要だと考えますか。(5つまでに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. 障がいの予防・早期発見・保健指導体制の充実 2. 障がい児保育・障がい児教育の充実 3. 障がい児学童保育の充実 4. 居宅介護・ショートステイなどの在宅福祉サービスの充実 ※居宅介護:利用者の家庭を訪問し、食事や身の回りの世話をを行うサービス ※ショートステイ:在宅で障がいのある方が、短期間施設を利用するサービス 5. 通所施設の整備や施設運営の改善 6. 入所施設の整備や施設運営の改善 7. 福祉機器の利用のための助成 8. 医療やリハビリの充実 9. 福祉に関する情報提供や相談の充実 10. 就労の援助や雇用の促進 11. 生涯学習や文化活動の充実 12. スポーツ・レクリエーション活動の充実 13. 障がい者が住みやすい住宅の確保や居住環境の改善・整備 14. 建物や交通機関、道路など障がい者に配慮したまちづくりの推進 15. 防災や安全対策など安心して暮らせるまちづくりの推進 16. 保護者等が亡くなったあとの生活支援の充実 17. ボランティア活動の推進 18. 障がい者理解への啓発や交流の促進 19. その他()

大項目	番号	小項目	身体	知的	精神	難病	発達障がい	高次脳機能障がい	その他市民	選択肢
地域で取りくむ福祉についてうかがいます。	119	あなたは、障がいのある人もない人もともに暮らせる地域を形成していくためには、どのような仕組み(組織)が必要だと思いますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. 自治会単位の組織 2. 小・中学校区の組織 3. 地区センター・公民館単位の組織 4. その他()
	120	あなたは、地域で福祉ボランティア活動を実践するために、必要な拠点はどこが望ましいと思いますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. 自治会集会所 2. 地区センター・公民館 3. 他の公共施設 4. その他()
	121	あなたは、地域で組織されている「地区コミュニティ推進協議会」を知っていますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. 知っている 2. 知らない
	122	あなたは、地域で行われている福祉関係の行事に参加したことがありますか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. 参加したことがある 2. 参加したことがない
	123	122で「1. 参加したことがある」とお答えの方にうかがいます。それはどんな行事ですか。(1つに○印)	—	—	—	—	—	—	○	1. 配食サービス 2. 敬老会 3. 三世交代イベント(ウォーキング・食事会等) 4. ふれあいの集い(昔の遊び体験など) 5. その他()
あなたと、地域や福祉との関わりについてうかがいます。	124	地域活動への参加について、あなたの、過去の参加体験、現在参加していること、今後参加してみたいことをお答えください。(それぞれ該当する欄に○印)	—	—	—	—	—	—	○	過去に経験あり 現在している 今後したい 1. 団体活動の指導 2. スポーツクラブ・サークルへの参加 3. 自治会・老人クラブなどの地域活動 4. PTAや子ども会活動 5. 高齢者・障がい者を支える活動 6. 地域の防犯・防災・交通安全活動 7. 町内や浴道の美化活動 8. 自然環境を守る活動・環境にやさしい消費者活動 9. 地域での国際理解・国際交流活動 10. 特にない 11. その他()
	125	問■(131番)で「5」について「過去に経験有り」「現在している」又は「今後したい」に○印をつけた方にうかがいます。具体的にどのような活動でしたか。(それぞれ該当する欄に○印)	—	—	—	—	—	—	○	過去に経験有り 現在している 今後したい 1. 声かけや見守り・安否確認 2. 話し相手 3. 外出の付き添いや送迎 4. 代読・朗読 5. 点字・手話通訳 6. 買い物や手続きなどの代行 7. 生活自立の訓練サポート 8. 趣味やスポーツの指導・介助 9. 学習やパソコン習得サポート 10. 福祉関係の行事の手伝い 11. 福祉施設の手伝い 12. 障がい者団体等の手伝い 13. その他()
設問数計			75	75	77	76	76	76	37	
前回調査の設問数			60	62	52	52	—	—	29	

第4期越谷市障がい福祉計画・第4次越谷市障がい者計画の策定に係るアンケート調査 設問一覧(事業所用)

大項目	番号	小項目	選択肢
貴事業所についてうかがいます。	1	平成26年4月末日現在の貴事業所についてご記入ください。	<p><質問項目> 事業所名、所在地、電話番号、代表者名、記入者名、事業所の設立年月日、運営主体(該当する番号1つに○をつけてください。)</p> <p>1 社会福祉法人 2 社団・財団法人 3 特定非営利活動法人(NPO) 4 医療法人 5 市町村 6 その他</p>
	2	平成26年4月現在、貴事業所が取り扱っているサービスの提供内容、または今後提供予定のあるサービスについてご記入ください。	<p><質問項目> ①現在提供中、または提供予定のサービス定員、または提供可能人数 ②開所日1日あたりの平均利用人数(平成26年4月の実績で算出) ③移行時期(実施、または予定時期)</p> <p><サービスの名称> 居宅介護(ホームヘルプ)、重度訪問介護、行動援護、同行援護、重度障害者等包括支援、短期入所(ショートステイ)、療養介護、生活介護、施設入所支援、自立訓練(機能訓練)、自立訓練(生活訓練)、就労移行、就労継続支援(A型)、就労継続支援(B型)、指定特定相談支援、指定一般相談支援、共同生活援助(グループホーム)、生活ホーム、生活サポート、日中一時支援、移動支援、訪問入浴、地域活動支援センター、その他(具体的に、サービス名をご記入ください)</p>
	3	貴事業所の地域社会における役割について、貴事業所の考えをご記入ください。(該当する番号すべてに○をつけてください。)	1 一般企業等への移行支援 2 文化芸術的・創作的な活動 3 就労への体力づくり等の準備を行う場所 4 社会生活を送る際の生活訓練など15項目
	4	現在、事業運営について課題となっていることは何ですか。	1 収入は増加(安定)しているが、配置すべき人材が確保できない 2 収入が少なく、運営が厳しい 3 利用者の退所や利用抑制がある 4 事務量が多く、職員の負担が大きい 5 事務量が多く、利用者への支援の時間が少ない 6 日額払いのため、利用者確保をしなくてはならない 7 工賃確保のための事業拡大・新規事業の立ち上げ 8 特になし 9 その他
	5	第三者評価の導入の予定はありますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)また、「4 導入の予定はない」を回答された場合は、その理由をお聞かせください。 ※第三者評価とは:福祉機関や関連する機関が提供する福祉・介護サービスなどの質が適切なものかどうかについて、機関内部で判断するのではなく、機関外の第三者によって行われる評価をいいます。	1 導入している 2 導入の予定が決定している 3 導入を検討している 4 導入の予定はない 導入の予定がない理由:
	6	災害時における障がい者の受け入れについてお答えください。(1つに○印)	1 受け入れを考えている。 2 利用者の受け入れは考えている。 3 災害時の受け入れは特殊であるため、受け入れは考えていない。
職員・支援員についてうかがいます。	7	職員・支援員の障がいに対する理解度に対する考えをお答えください。(あてはまるもの1つに○印)	1 障がいに対して十分に理解がある。 2 十分であるとはいえないが、理解がある。 3 障がいに対する理解に足りない部分がある。 4 障がいに対する理解がほとんどない。 5 全くない。
障がい者の権利擁護についてうかがいます。	8	虐待(疑いを含む)をうけているところをみたことがありますか。(1つに○印)	1 ある 2 ない
	9	問■であると答えた方にうかがいます。その虐待はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○印)	1 (身体的虐待)叩かれたり、殴られたり、または傷つけられるところ。 2 (心理的虐待)罵られたり、罵倒されたり、暴言を吐かれるところ。 3 (ネグレクト)食事を与えられなかったり、排泄物の処理をされなかったり、長いこと相手にされな かいでいるところ。 4 (経済的虐待)お金を勝手に使われたり、取り上げられるところ。 5 (性的虐待)同意もなくわいせつな行為をされたり、強制させられたところ。 6 その他()
	10	虐待をなくすために必要なことはなんだと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)	1 介護者・支援者に対するケア 2 虐待を受けている人が相談しやすい体制づくり 3 地域社会でのみまもり 4 障がいの特性や虐待についての知識の啓発 5 その他
障害者優先調達推進法についてうかがいます。	11	物品・役務の提供を行っている事業所にうかがいます。障害者優先調達推進法の施行に伴う変化はありましたか。 ※ 障害者優先調達推進法とは:障害者就労施設で就労する障害者や在宅で就業する障害者の経済面の自立を進めるため、国や地方公共団体、独立行政法人などの公機関が、物品やサービスを調達する際、障害者就労施設等から優先的・積極的に購入することを推進する制度。	1 公的機関からの注文が増えた。 2 民間企業からの注文が増えた。 3 今のところ変化なし。 4 その他()
	12	障害福祉サービス事業所等(生産品や役務を提供している事業所)の利用者の工賃アップのために必要なことは何だと思えますか?(あてはまるものすべてに○印)	1 魅力的な生産品の作成 2 継続的・安定的な生産量 3 販路の拡大 4 市民等への情報提供 5 公的機関・民間企業からの発注の拡大 6 その他
その他	13	サービスを提供するにあたって、市に望むことは何ですか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)	1 行政との情報共有 2 同じようなサービスを提供する事業所との連携 3 事業運営に必要な情報提供 4 地域の障がい者団体との交流の機会 5 障がい者福祉に対する市民理解を得るための周知、啓発 6 イベント等の周知の協力 7 その他
	14	市の障がい福祉行政へのご意見や当調査のその他の回答欄が十分でなかった等ございましたら、以下にご自由にご記入ください。	自由記入